

## 開催報告

# 【GEOAMERICAS2008 CUNCUN MEXCO 出席報告】

太陽工業(株) 石田 正利

IGS と IFAI (Industrial Fabrics Association International) が共同で主催し IGS 北米/南米(ペルー, ブラジル, チリ, メキシコ) 支部も協賛し全米規模で行われた初めての会議として, GeoAmericas 2008 が, 3月2~5日にメキシコの CUNCUN で開催された。論文は英語で発表された。

⇒参加者数は960名で74の展示企業

⇒論文数は239

⇒26ヶ国からの参加

⇒南米からも積極的な参加があった。

※) データはIFAIWebサイトによる。

遠く離れたメキシコでの会議であり日本からの出席者はどのくらいか?と思われたが, 現地では龍岡(理科大), 落合(九大), 三木(三木地盤環境工学研), 菊池(港空研), 勝見(京大), 宮田(防衛大), 石森(立命館大), ハザリカ(秋田県立大), 梶尾(太陽工業)にお会いできた。(敬称略)

3月2日(日)の夜は IGS 主催のコーポレートメンバーレセプションが開催され, 各国から参加したジオシンセティックスメーカーの集いの場となった。さらに, 会場ではコーポレートメンバー企業の20年以上のIGS特別会員登録を表彰するイベントが開催され, IGS 龍岡会長から記念品が送られた。このイベントはGeoAsia 上海/EuroGeo4; エジンバラでも行われ表彰対象の日本企業もあると聞いた。

The keynote lectures の講演は, Dr.J.P.Giroud/Dr.Rovert M.Koerner/Mark.E.Smith/Dr.Leandro de Moura Costa の4名だった。

初日の Dr.J.P.Giroud の講演では, これまでのジオシンセティックスの研究の発展と新しい技術の開発の話題を多数のスライドを用いて丁寧に講演された。最後に新しい土木技術としてのジオシンセティックスの発展への期待と新しい技術を積極的に取り入れるべき地盤工学への期待を熱心に語られており興味をもって聴講できた。

会議の日程にあわせて3日間の展示会も開催された。展示会はジオシンセティックスメーカーや材料販売会社などにとって新しい材料や工法を紹介できる機会として有効の場となっており盛況であった。本会議と同様の会議はGeoAmericas 2009として2009年2月25日~27日 米国/Salt Lake Cityで開催される予定である。



特別会員記念表彰式の様子



Exhibitionの様子



Lunch Timeの様子

(\*) 本文の写真は geosynthetica.net のご好意により掲載